

年間のゴールの姿

学習用語を使って筋道立てて説明できる

1 授業づくり

(1) 現状と課題 (R)

児童生徒の課題	現状と要因・根拠となるデータ
算数的表現を使って、他者に筋道立てて表現することができていない。	<p>[現状と要因]</p> <p>○問題文や図，グラフに書き込みをしながら考えるようになっている。                      △考えがまとまりきっておらず，筋道立った説明になっていない。                      →筋道立てて考えて，判断の根拠を説明したり，説明を振り返ったりする機会が不十分。</p> <p>[根拠となるデータ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4 後期目標「算数的表現を使って筋道立てて説明しよう」(59.4%)</li> <li>・R4 後期単元テスト(70.5%) 児童アンケート(96.9%)</li> <li>・R4 評価問題 5年算数</li> </ul> <p>③(2)縦に書くことができる正方形の数を求め，縦に30個かくことできる理由を記述できる。 記述 27.3%</p> <p>⑤(2)グラフを読み取り，それを根拠に示された事柄が正しくない理由を記述できる。 記述 27.3%</p>

(2) 計画と実行 (P・D)

具体的取組	評価項目	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しがもてるように，授業の序盤にゴールの姿を示す。</li> <li>・根拠を示しながら表現させている。</li> <li>・曖昧な表現や不足している説明に対して問い返しを行う。</li> <li>・共有したことが理解できているかを確認する。</li> <li>・何につまずいているかを捉え，児童への支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業「図や式，算数用語を使って，他者に筋道立てて表現している」(75%)</li> <li>・実施検証「適用問題を自力解決する」(75%)</li> <li>・診断テスト「図や式，算数用語を適切に使って解答している。」(75%)</li> <li>・児童アンケート「根拠を示しながら友達に説明しようとしている」(90%)</li> </ul>	

(3) 検証と改善 (C・A)

月	評価項目(誰が、いつ)	結果	取組の成果○・課題▲
4			
5	<input type="checkbox"/> 参観シート(5年研究授業, 日) <input type="checkbox"/> 授業評価表(学担+統括, 月1回) <input type="checkbox"/> 単元テスト(学担, 単元ごと)	○% ○% ○%	
6	<input type="checkbox"/> 参観シート(3年研究授業, 日) <input type="checkbox"/> 授業評価表(学担+統括, 月1回) <input type="checkbox"/> ノート検証(学担, 4週) <input type="checkbox"/> 単元テスト(学担, 単元ごと)	○% ○% ○% ○%	
7	<input type="checkbox"/> 参観シート(1年研究授業, 日) <input type="checkbox"/> 授業評価表(学担+統括, 月1回) <input type="checkbox"/> 診断テスト(学担, 3週) <input type="checkbox"/> 児童アンケート(学担, 3週)	○% ○% ○% ○%	



前期（I期）取組の成果○・課題▲



2 基盤づくり

目標	具体的取組	評価
相手を見て話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「きくトキのはあく」(反応する，相手を見る，比べる)を意識させて，聞く姿を整える。 →できている児童をほめ，お手本にする。</li> <li>・生活目標の振り返りを毎日の帰りの会で行う。</li> </ul>	

